



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



JK ローリングは生活保護を受けていた。

「ハリー・ポッターと賢者の石」が発売された 1997 年以前、作者の JK ローリング(1997 年当時 32 歳)は苦労の連続だった。

彼女は 25 歳までに 2 つの小説を書いていたが日の目を見ることはなかった。1992 年に結婚し、翌年女兒を産むがその年に離婚する。そして 1993 年 12 月に生活保護を申請し、受理されたほか、友人からも借金をするなど苦しい生活が続いた。そして貧困と心労のためうつ病になり、「自殺を考えた」ことがあるとエディンバラ大学の学生誌に明かしている。



こうした状況の中で、「賢者の石」を書き続け 1995 年に原稿は完成する。出版社に送るが、最初は断りの手紙と一緒に送り返されたという。そしてクリストファー・リトルと著作権エージェンシーを結び、原稿は 12 の出版社に提出されたものの、あまりにも長編であったために出版する会社は現れなかった。

しかし、子供向け書籍の出版に取り組んでいたブルームズベリー社が出版することになり、徐々に売り上げが増え、「ネスレ・スマーティーズ賞」などの文学賞を受賞してからは、多数の外国語に訳され世界的なベストセラーになったのである。

写真は JK ローリング(Wikipedia より)





世界最古の会社、金剛組(1443 年前に創業)

世界最古の木造建築は法隆寺だが、世界最古の会社は大阪市四天王寺に本社がある金剛組である。578 年聖徳太子が百済から招いた 3 人の宮大工のうちの 1 人である金剛重光氏によって創業され、長く四天王寺お抱えの宮大工を続けてきた。

神社仏閣建築の設計・施工や文化財建造物の復元や修理等が主業務だが、近年神社にもコンクリート建築が増えたため、経営危機に見舞われ 2005 年には高松建設の子会社となり、現在も宮大工の業務を続けている。

雲外蒼天

「雲外蒼天」とは困難を乗り越え、努力して克服すれば快い青空が望めるという意味の四字熟語だ。30 年ほど前、経営者が座右の銘とする言葉として時折取り上げられていた言葉だが、このほど久しぶりにこの言葉を見かけた。

将棋の藤井聡太棋聖が、7 月に渡辺明名人の挑戦を受けた棋聖戦において 3 勝 0 敗の成績で初防衛に成功したが、それを記念してスポンサー企業の 1 社である産経新聞社が藤井棋聖の揮毫入り扇子を販売することになった。その扇子に藤井棋聖の揮毫する言葉が「雲外蒼天」だという。発売は 10 月下旬以降、価格は 2970 円(税込み)。

揮毫は「雲外蒼天」 藤井聡太棋聖の揮毫入り扇子
予約受付中
sankei.com/article/202108...

藤井棋聖が選んだ言葉は「雲外蒼天」(うんがいそくてん)。「困難や試練(雲)を乗り越えた先には青い空が広がっている」という意味の四文字熟語で、並々ならぬ決意が込められています



揮毫は「雲外蒼天」 藤井棋聖の揮毫入り扇子 予約受付中
sankei.com

青空の下の「下」は「した」か「もと」か？

下という字は、ある基準があって、それより「上」があり、その対として「下」がある場合は「した」と読む(屋根の下、机の下など)。一方、上に広がるものに隠れる範囲を指す場合は「下」を「もと」と読む。すなわち、対になる「上」には明確な範囲がないのである。

「青空の下」の「青空」は広く続いている大空のことであり、はっきりとした範囲があるわけではな



FIWA®通信「インベストライフ」

い。よって、「青空の下」の「下」には対になる上が存在していないため「もと」と読むのが正しいということになる。

追記:「下」を「もと」と読む例は、「法の下(もと)の平等」「白日の下(もと)にさらされる」などがある。

破天荒

「破天荒」はメディアなどで頻繁に誤用されている言葉である。「天荒」とは荒れて雑草などがはびこる天地未開の土地のこと。「破天荒」は中国・唐の時代、最難関である科挙(官吏の採用試験)の合格者が一人も出なかったために人々に「天荒」と呼ばれていた荊州から劉蛻(りゅうぜい)という合格者が初めて出た。それを「天荒を破った」と言われたという故事による。ここから、今までだれもなし得なかった事を成しとげるという意味になったのである。

従って「破天荒」とは前人未到の偉業という意味が正しく、豪快で大胆な、または型破りな、という意味ではない。

先月将棋の藤井聡太二冠(王位・棋聖)が、豊島将之叡王を破って、叡王のタイトルを奪取。19歳1か月での三冠達成は1993年1月に22歳3か月で達成した羽生善治九段の年齢を大幅に更新した。まさに藤井三冠の偉業達成こそ「破天荒」という言葉を使うにふさわしいといえよう。